

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町

～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

愛南町ブルーカーボン推進協議会

愛南漁業協同組合、家串・油袋・平崎・柏崎真珠母貝生産組合、愛南町役場
国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、一般社団法人Umidas

プロジェクト概要

- ✓ 愛南町は真珠母貝生産量が全国トップクラスですが、漁業者の減少が著しく、真珠産業の存続が危惧されます。
- ✓ 真珠母貝養殖筏（幹縄筏）には作業の支障となる海藻（マメタワラ）が毎年繁茂します。
- ✓ 漁業者はこれを除去し、同海域の『藻捨て場』と呼ばれる区画に移動する作業を頻繁に行ってています。
- ✓ 漁業者が管理する筏が貴重なブルーカーボン創出源となり、日常作業が海中への炭素固定に貢献すると捉えた、新発想のプロジェクトです。

申請対象：愛南町内4海域の幹縄筏のマメタワラ
今期認証量：33.8(t-CO₂) 藻場面積：8.83ha



海浜清掃



水産人材育成
(ぎょしょく教育)



藻捨て場に運ぶ漁業者



真珠母貝表面の
洗浄作業



幹縄筏のマメタワラ



養殖される真珠母貝

特徴

- ✓ 貝類養殖筏では**全国初、四国第一号**の認証
- ✓ **産業活動そのものが脱炭素社会に貢献**
- ✓ 取得したクレジットは**真珠産業の保全・活性化**に繋げる他、**環境保全活動や環境教育等**にも活用

愛南町は真珠母貝養殖の継続で持続可能な脱炭素社会を実現します